

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	
	(返) (赤)
配架番号	3 A
	14
	36-11

WD 261461

秘

各種
軍(除獨軍)
國通
器材一覽表

31 JUL 14
Copy 1959

昭和19年5月10日
陸軍兵器行政本部

国立公文書館	
分類	
配架番号	36-11

秘

蘇

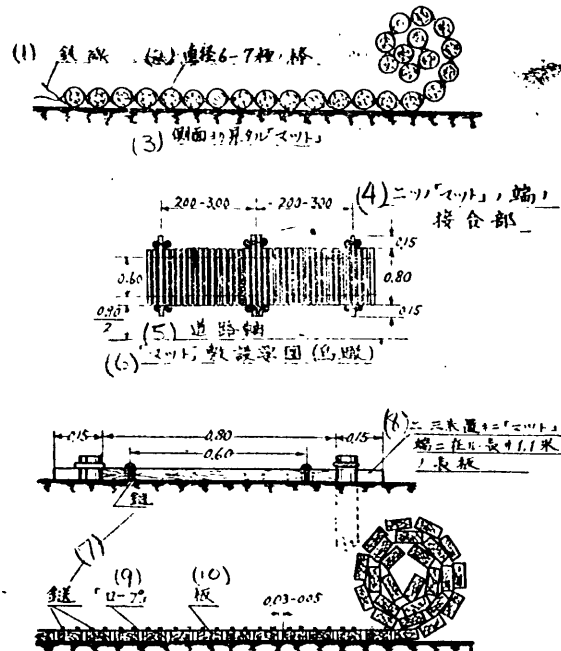
軍

各國軍 (除獨軍) 特種交通

濕地通過器材

折疊式濕地板 (マット)

1. 棒製濕地板
長さ80cm太さ6~7mm、鉄線4本ヲ撚リ合セタル鋼ヲ以テ綴レシモノニシテ棒ハ1~2mmノ間隔ヲ置キテ之ヲ配列ス 1巻ノ長さ8米ナリ
2. 板製濕地板
長さ80cm幅20cm厚リ4~7mmノ板ヲ3~5mmノ間隔ヲ置キテ配列シ 僅5mmノ鋼ヲ以テ綴レシモノニシテ1巻ノ長さ6~10米ナリ



濕地板敷設機

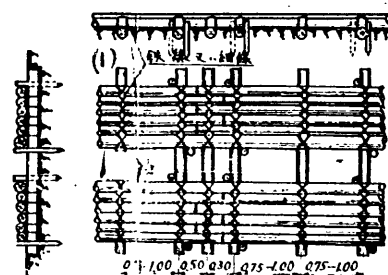
構造……米90cm若クハ自動車ニ依リ結核セル屈曲性濕地板ヲ積載シ濕地ニ至ルヤ其ノ前部ヲ木製輪子ヲ經テ車輪ハ履帯ドニ押サシ車輪ノ前進ニ伴ヒ逐次展延シツツ通過路ヲ構成ス (車輛ニ濕地板ヲ積載セル閉塞車ヲ閉塞引リシメ一操作ノ延長ヲ増加セルモノアリ)

寸法……濕地板ノ幅25cm
濕地板ノ厚サ 輕自動車ノ通過ノ爲ニハ40mm
3 輕自動車ノ通過ノ爲ニハ50mm

積載長……3 輕自動車 50m (板ノ厚サ4mm)
75馬力コンナムル型牽引車及輕便牽引車 330m (板ノ厚サ4mm) 又ハ265m (板ノ厚サ5mm)

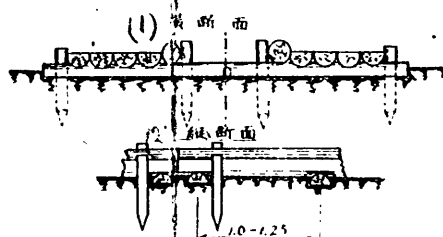
棒製車轍道

地面ト等高ニ敷キタル丸太製横方向ニ滾木ノ上ニ根ニ近キ方ヲ互ニ違ヒニシテ棒ヲ敷ク 棒ハ鐵線又ハ細鋼ヲ以テ上滾木ニ之ヲ縛ス 兩軌道ノ内縁ニハ丸太ノ車輪止メヲ敷ク



縦割材製車轍道

地面ト等高ニ相互ニ1~1.25mヲ隔テ横方向ニ敷キタル縦割材又ハ丸太製上滾木ノ上ニ軌道ヲ形成スベキ縦割材ヲ縦方向ニ敷ク
縦方向ノ縦割材ハ平滑ナル側ヲ上ニ向テ置クモノトス 各縦割材ハ各上滾木ニ一本ノ釘ヲ以テ固定ス
縦割材ノ接合部ノ下ニ2本ノ横方向ニ滾木ヲ置ク 兩軌道ノ内縁ニハ丸太ノ車輪止メヲ敷ク



丸太製車轍道

丸太ハ其ノ端部ヲ兩軌道ニ共通ナル2ノ上滾木ノ上ニ置キ道路ニ沿ヒテ之ヲ敷ク 丸太ノ太サ20cm以下ナルトキハ丸太ノ中央部ニ下ニモ上滾木ヲ置クモノトス 軌道ノ横方向ヘノ迂リヲ防止スル爲ニ滾木ニハ深リ丸太直徑ノ半ノ凹ミヲ刻ス 丸太ノ接合部ハ鐵ヲ以テ固定ス

氷上通過器材

氷上補強渡河

各種通過荷重ニ應ズル所要氷厚ハ次表ノ如シ

通過荷重	總重量(噸)		氷厚(厘米)		相互ノ距離(米)
	後	前	後	前	
裝輪車輛	3.5	2.75	0.75	15	15
	6	4	2	20	20
	10	7	3	25	25
	15	10	5	30	30
	3.5	—	—	15	15
裝軌車輛	10	—	—	20	20
	12.5	—	—	25	25
	25	—	—	40	40
	45	—	—	50	50
	—	—	—	—	—

氷厚十分ノラサハ時次ノ如ク計算方法ニヨリ補強通過ス

1. 撒水法

氣溫概ネ零下8度以下ノ場合ニ行ハル方法ニシテポンプノホース端ニ蛇口ヲ裝置シ補強スベキ氷面ニ撒水シテ迅速ニ凍結セシム

實驗ニヨリ凍結度次ノ如シ

氣溫零下8度	1時間	4mm
氣溫零下12度	1時間	6mm
氣溫零下15度	1時間	8mm

2. 撒水法

氷上通過路ノ兩側ニ雪又ハ丸太 板等ヲ依リテ水溝ノ如クシ其ノ中ニ積氷等ニテ溝水ス 1回ノ氷結厚サ2~3mmトシ所要ノ氷厚ヲ得テ迅速ニ復凍セシム

3. 氷塊ヲ用フル凍結法

通過路ノ雪ヲ除キ約100m距離セル地點ノ氷ヲ1.5m平方乃至2m平方ニ鋸ニテ切り取リ之ヲ補強スベキ場所ニ運搬シ通過路ニ配列シタル後氷片ニ撒水シテ氷片相互ヲ凍結セシム且既存ノ基底タルベキ氷ニ結着セシム 氷片ノ敷設ニ依リ氷面力ノ増加ハ約1.5倍ナリ

此ノ方法ハ氷片ノ敷設ニ多大ノ時間ヲ要スルヲ缺點トス

4. 制式架橋器材ヲ布置スル方法

橋架材料ヲ使用シテ荷重ヲ廣ク分布セシメ氷厚ノ不足ヲ補フモノニシテ枕材ノ下面ト氷面トハ密着スル如ク水ヲ撒キ凍結セシム 本方法ハ簡單ナルモ材料ノ輸送ニ多大ノ時間ト労力トヲ費スルヲ以テ氣溫零下8度以下ノ場合ハ凍結法ニ依リテ遙カニ有利トス

5. 橋脚ヲ構築スル方法

氷面ニ小孔ヲ穿テ其ノ中ニ丸太ヲ打込ミ橋脚トナス 丸太ハ氷面ト水トナル如ク上部ヲ切り取リ此ノ上ニ据木ヲ設置ス 支柱間隔ハ4~6mニシテ其ノ間ニ1~1.5m毎ニ据木ニ平行ニ長さ5~7mノ丸太ヲ横置シ据木及中間丸太材ノ上ニ角材又ハ丸太ヲ設置シテ車轍トナス
平行ニ配列セル据木及丸太ハ水ヲ以テ氷面ト凍結セシム

半凍河川ノ渡河

流速大ナル河川ニテハ河岸ノミ凍結シ中央部ハ凍結セザル事屢ニナリ 斯ル箇所ノ渡河法トシテハ次ノ如キモノアリ

1. 一列及二列縱隊ノ歩兵ヲ通過ノ爲ニ丸太及板ニテ欄干ヲ有スル徒橋ヲ形成シ迅速ヲ利シ半圓形ヲ畫キテ對岸ニ架ス
2. 岸ニ近キ氷ノ所ニ架スル補強凍結セシメタル後之ヲ復大ナル如ク切り流運ヲ利シ對岸ニ誘導ス

交通器材一覽表

昭和 19 年 5 月 10 日
陸軍兵器行政本部

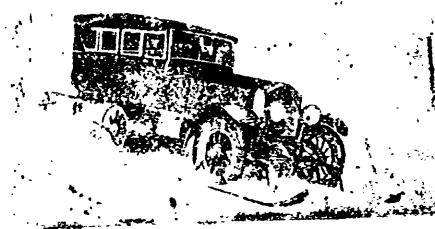
米

英

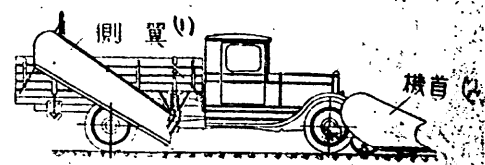
軍

B 自動車機

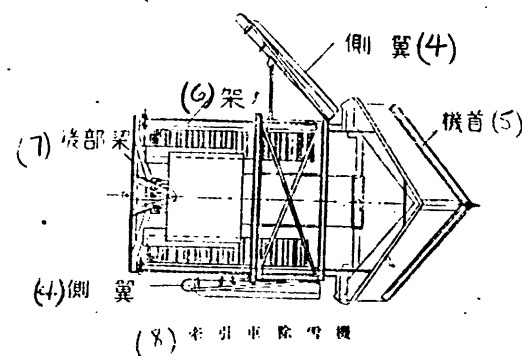
半装軌式自動車機ハ依テ 20 噸ニ於テモ行動シ得ルモノニシテ 500~600 延ノ荷重ヲ積ミ道路アリテハ毎時 40 軒ノ速度ニ至リテハ毎時 25 軒ノ速度ヲ有ス
應急用トシテ普通自動車ノ前車輪ニ格ツ 後車輪ニ 補足ノ輪及底帯ヲ装セルモノアリ 深サ 30 厘米以下ノ水路ノ中ヲ行進シ得



1. 自動車除雪機
自動車ノ前方ニ装著セル三角形ノ鍬及側面ニ装著セル側翼トヨリ成リ除雪幅ハ 5.5 米ニシテ毎時 10~20 軒ノ速度ニ除雪ス
自動車ニ除雪装置ノ取附アルモノハ 1.5~2 時間ヲ要ス
普通 3 輪自動車ヲ用フルモ呼号ナキ作業ニハ格ニ 1.5 倍自動車ヲ用フル事アリ
2. 牽引車除雪機
三角形ノ鍬及側面ノ二翼ヨリ成リ除雪幅ハ約 6.5 米ナリ
MT3 型 65 馬力トラクターヲ使用スレバ 1.5 米迄ノ積雪ヲ掃除シ得
3. ロータリー式除雪機
MT3 型 65 馬力トラクターハコミンテルン型 130 馬力トラクターニ装著セルモノニシテ起動ハ特殊發動機ハトラクター發動機ニ依ル



(3) 自動車除雪機

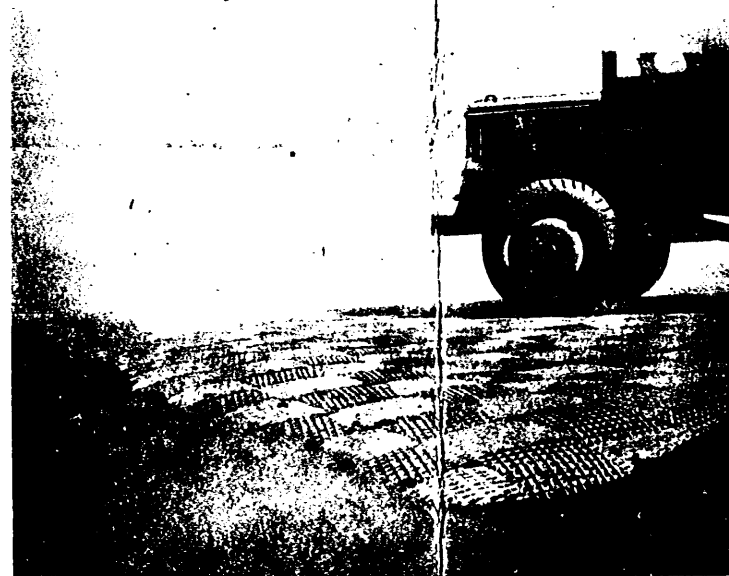


森林通過器材

湿地通過器材

金網敷設道(米)

亜鉛鍍金ヲ施セル針金ヲ以テ幅約 35 厘米 長さ 1.5~2 米ノ金網ヲ製シ更ニ数列組合シテ略ト方形状セルモノヲ其整目ノ如ク湿地ニ敷置スルモノナリ 而シテ金網ハ般ノ線ハ八番線ヲ使用シ各線ノ間隔ハ 1.5 厘米 横ノ線ハ十番線ヲ使用シ各線ノ間隔ハ 8 厘米以下ナリ
木金網ニ使用スル針金ハ普通針金ノ約 3.5 倍ノ耐伸強度ヲ有シ損傷ニ耐フル如ク高度ノ靱性鍍ニ硬度ヲ有ス



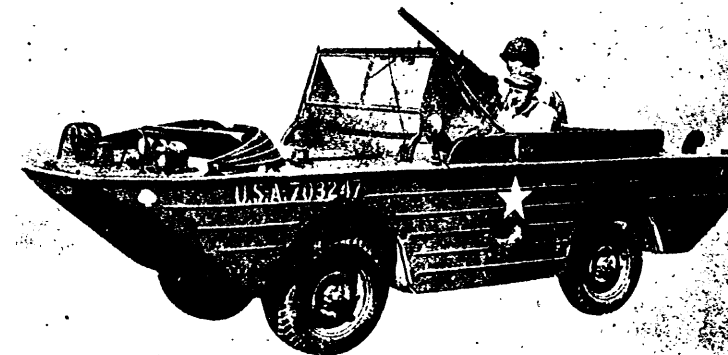
鋼板敷設道(英)



薄形鋼板ノ四部ヲ下ニシテ順次路面ニ横ニ配列シ各薄形鋼ノ起縁部ト凹溝部トヲ以テ次々ニ接合スル仕組ナリ
鋼板ノ厚サハ荷重ノ如何ニ依リ 1/8 ~ 3/8 吋ニ作成セラレアリ
本材料ハ從來ノ丸太敷置ニ比シ設置迅速ニシテ運搬體積ノ小ナルヲ特徴トス

水陸兩用ジープ(米)

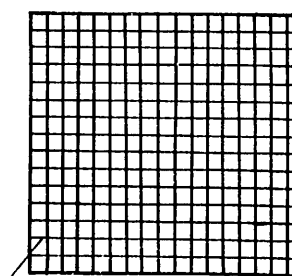
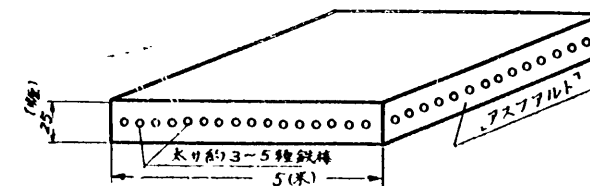
構造.....川艇ニ四輪ヲ装シタメ外觀ヲ呈シ車體後部ノ推進機ニ依リ水上航行ヲナス
重量.....1 噸
動力.....4 氣筒 60 馬力
陸上速度.....毎時 65 哩
搭乗人員.....5 名
武裝.....7.7 口径機關銃 1



飛行場舗装資材

鉄筋アスファルト板ノ敷置(米)

鉄筋アスファルト敷置行場ハ地面ノ地均シ行シタル後鉄筋及アスファルトヲ使用シ作製セル厚サ 25 厘米面積 5 米平方ノ板ヲ敷置シ其ノ間隙ヲアスファルトヲ以テ埋置シ急造ス



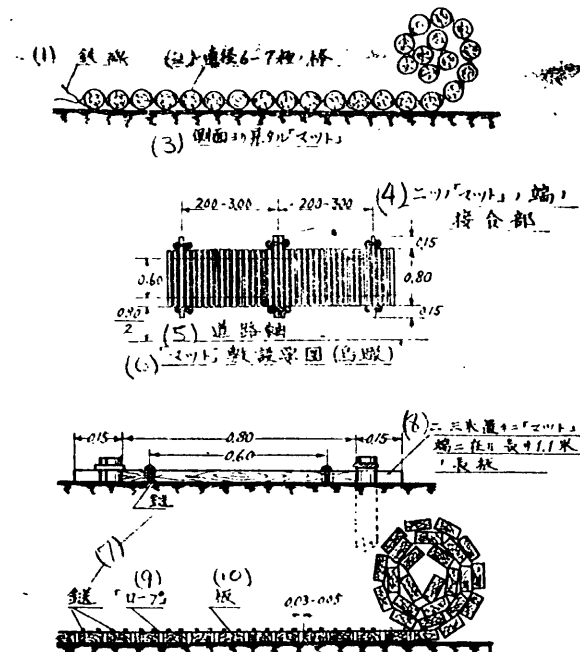
穿孔鉄板ノ敷置(米・英)

幅 15 吋 長さ 10 吋ノ穿孔鉄板ヲ並列結合シテ敷置スルモノニシテ自動車ニ積載シ運搬設置容易ニシテ地均シ後幅 150 吋 長さ 3,000 吋ノ滑走路ヲ 150 名迄ノ

湿地通過器材

折疊式濕地板 (マット)

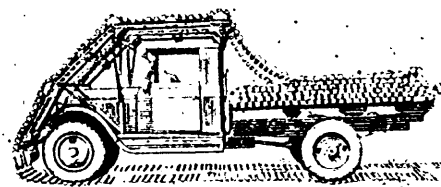
1. 棒製濕地板
長さ80cm 幅6~7cm、軟鋼線4本ヲ撚リ合セタル鋼ヲ以テ綴レモノニシテ棒ハ1~2個ノ間隔ヲ置キテ之ヲ配列ス 1巻ノ長さ8米ナリ
2. 板製濕地板
長さ80cm 幅20cm 厚4~7mm 板ヲ3~5個ノ間隔ヲ置キテ配列シ 厚5mmノ鋼ヲ以テ綴レルモノニシテ1巻ノ長さ6~10米ナリ



濕地板敷設機

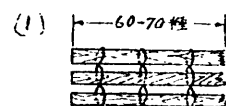
構造……牽引車若ハ自動車ニ像メ結構セシ屈曲性濕地板ヲ積載シ湿地ニ至ル其ノ前部ヲ木製轆子ヲ經テ車輪又ハ履帯ニ乗リテ前進シ作作ニ逐次展延シツツ通過路ヲ構成ス 車輛ハ濕地板ヲ積載セシ屈曲性車輪ヲ用テ牽引セシメ一操作ノ延長ヲ増加セシモノアリ

寸法……濕地板ノ幅2.5米
濕地板ノ厚 輕自動車ノ通過ノ爲ハ40cm
3 輕自動車ノ通過ノ爲ハ50cm
積載長……3 輕自動車 50cm (板ノ厚4mm)
75馬力コンパナル型牽引車及輕自動車 3.30米 (板ノ厚4mm) 又ハ2.65米 (板ノ厚5mm)



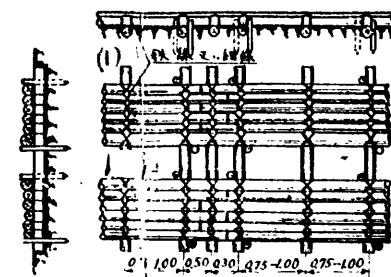
棒製補助無限軌道

長さ3~4.5m 棒ヲ100~120個ノ長さニ切り針金ニテ結束ス 棒ハ棒 轆等成ルベク緊キモノヲ使用ス
補助無限軌道ヲ附シタル戰車ノ沼澤地ニ於テ行進速度ハ約5割増ナリ



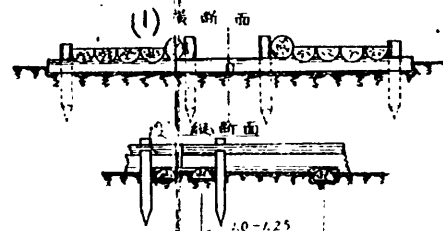
棒製車轍道

地面ト等高ニ敷キタル丸太製轍道ハ、牽引ノ上ニ置キ方ヲ互ニ違ヒシテ棒ヲ敷ク 棒ハ轍道又ハ細路ヲ以テ上牽引ノ上ニ置キ 兩軌道ノ内側ニ丸太ノ車輪止メヲ敷ク



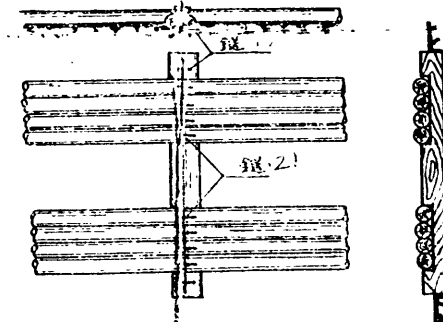
縦割材製車轍道

地面ト等高ニ敷キタル丸太製轍道ハ、牽引ノ上ニ置キ方ヲ互ニ違ヒシテ棒ヲ敷ク 棒ハ轍道又ハ細路ヲ以テ上牽引ノ上ニ置キ 兩軌道ノ内側ニ丸太ノ車輪止メヲ敷ク



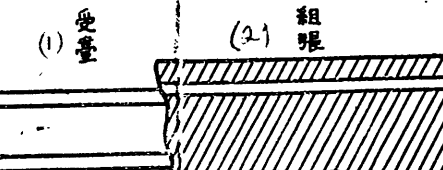
丸太製車轍道

丸太ハ其ノ端部ヲ兩軌道ニ共通ナル上ニ置キ道路ニ沿ヒテ之ヲ敷ク 丸太ノ太リ20cm以下ナルトキハ丸太ノ中央部ニ置キ土牽引ノ上ニ置キ 兩軌道ノ内側ニ丸太ノ車輪止メヲ敷ク



斜布置丸太道

丸太ヲ道路ノ方向ニ60度ニ組ミシテ自動車ノ車輪ハ左右同時ニ移動ヲ受ケズ 時速25~30kmヲ以テ走行シ得
長さ10~12mノ丸太ノ得ラレシ場合ハ往復交通路 長さ5~6mナルトキハ一方交通路ヲ構築ス



氷上通過器材

氷上補強渡河

各種通過荷重ニ應ズル必要氷厚ハ次表ノ如シ

通過荷重	分	後	前	氷厚 (cm)	相対距離 (m)
裝輪車輛	3.5	2.75	0.75	15	15
	6	4	2	20	20
	10	7	3	25	25
	15	10	5	30	30
裝軌車輛	3.5	2.75	0.75	15	15
	6	4	2	20	20
	10	7	3	25	25
	15	10	5	30	30

氷厚十分ナラザル時次ノ如ク諸方法ニ依リ補強通過ス

1. 撒水法

氣温概ネ零下8度以下ノ場合ニ行ハル 方法ニシテポンプノホース端ニ蛇口ヲ裝着シ 補強スベキ氷面ニ撒水シテ迅速ニ凍結セシム

實驗ニヨル凍結度大ノ如シ

氣温零下 8度	1時間	4mm
氣温零下 12度	1時間	6mm
氣温零下 15度	1時間	8mm

2. 渡水法

氷上通過路ノ兩側ニ雪又ハ丸太 板等ヲ積ミテ水槽ノ如クシテ其ノ中ニ極薄ノ氷等ニテ渡水ス 1回ノ氷結厚ヲ2~3mmトシ所要ノ氷厚ヲ得テ逐次復凍セシム

3. 氷塊ヲ用フル凍結法

通過路ノ雪ヲ除去シ約100cmニ離セル地點ノ水ヲ1.5平方乃至2平方ニ鋸ニテ切取リ之ヲ桶等ニ盛リ場所ニ運搬シ通過路ニ配列シテ後氷片ニ撒水シテ氷片相互ヲ凍結セシム且既存ノ基底タルベキ氷ニ粘着セシム 氷片ノ敷設ニ依リ耐重力ノ増加ハ約1.5倍ナリ
此ノ方法ハ氷片ノ敷設ニ多大ノ時間ヲ要スル缺點トス

4. 制式架橋器材ヲ布置スル方法

橋床材料ヲ使用シテ荷重ヲ廣ク分布セシメ氷厚ノ不足ヲ補フモノニシテ枕材ノ下面ト氷面トハ膠合スル如ク水ヲ撒キ凍結セシム 本方法ハ簡單ナルモ材料ノ輸送ニ多大ノ時間ト努力トヲ費スルヲ以テ氣温零下8度以下ノ場合ハ凍結法ニ依リテ適カニ有利トス

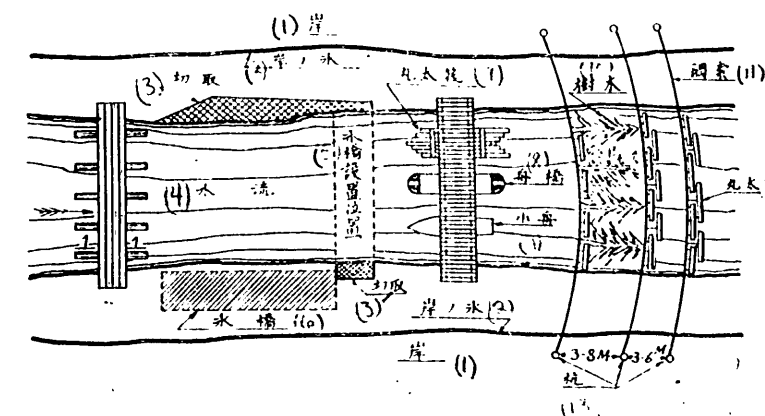
5. 橋脚ヲ構築スル方法

氷面ニ小孔ヲ穿テ其ノ中ニ丸太ヲ打込ミ橋脚トナス 丸太ハ氷面ト氷下ニナル如ク上部ヲ切取リ此ノ上ニ板木ヲ設置ス 支柱間隔ハ4~6mニシテ其ノ間ニ1~1.5m毎ニ板木ニ平行ニ長さ5~7mノ丸太ヲ横置シ板木及中間丸太ノ上ニ角材又ハ丸太ヲ設置シテ車轍指トナス
平行ニ配列セル板木及丸太ハ水ヲ以テ氷面ト凍結セシム

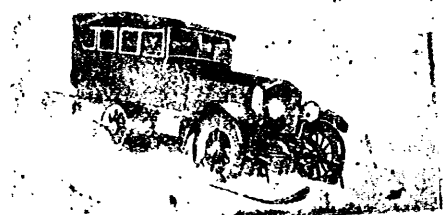
半凍河川ノ渡河

流速大ナル河川ニテハ河岸ノミ凍結シ中央部ハ凍結セザル事屢々ナリ 斯ノ箇所ノ渡河法トシテハ次ノ如キモノアリ

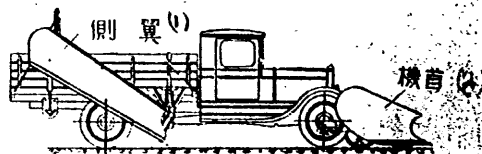
1. 一列及二列縱隊ノ歩兵ノ通過ノ爲ニ丸太及板ニテ欄干ヲ有スル長橋ヲ形成シ流速ヲ利シ半圓形ヲ畫キテ對岸氷上ニ架ス
2. 岸ニ近キ氷ノ所望ノ厚ニ補強凍結セシメ其ノ後之ヲ貨物ノ通過幅ヨリ6~10m以上大ナル如ク切取リ流速ヲ利シ對岸ニ誘導ス
3. 筏・舟・樽等現地物料ヲ利用セル舟橋ヲ架ス 斯ノ舟橋ハ冬期長時間ニ亘リ渡河ニハ凍結豫防ニ多大ノ困難ヲ伴フ常トス
4. 鋼索ヲ懸張シ之ニ樹枝又ハ丸太ヲ束結シテ凍結セシム
凍結ニハ一日夜乃至二晝夜ヲ要ス



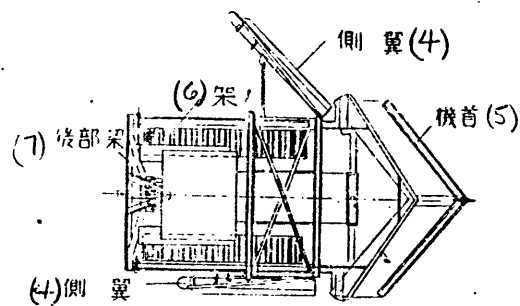
半装軌式自動車機ハ自重 10 噸ニ於テモ行動シ得ルモノニシテ 500~600 延ノ荷重ヲ積ミ道路
路ニアリテハ毎時 40 軒 本路間ノ上ニアリテハ毎時 25 軒ノ速度ヲ有ス
應急用トシテ普通自動車ノ前車輪ニ接シ 後車輪ニ 補足ノ輪及底帯ヲ装セルモノアリ 深サ 30
厘米以下ノ本路ノ雪中ヲ行進シ得



1. 自動車除雪機
自動車ノ前方ニ装著セル三角形ノ鋸及側面ニ装著セル側翼トヨリ成リ除雪機ハ 5.5 米ニ
シテ毎時 10~20 軒ノ速度ニテ除雪ス
自動車ニ除雪装置ヲ取付クル時ハ 1.5~2 時間ヲ要ス
普通 3 連自動車機ヲ用フモ容易ナキ作業ニハ格別 1.5 連自動車機ヲ用フル事アリ
2. 半装軌式除雪機
三角形ノ鋸及側面ノ二翼ヨリ成リ除雪機ハ幅約 6.5 米ナリ
MT-1 型 65 馬力トラクターヲ使用スレバ 1.5 米迄ノ積雪ヲ排除シ得
3. ロータリー式除雪機
MT-1 型 65 馬力トラクターニハコミンテルン型 130 馬力トラクターニ装著セルモノニシ
テ起動ハ特種發動機ニハトラクター發動機ニ依ル



(3) 自動車除雪機

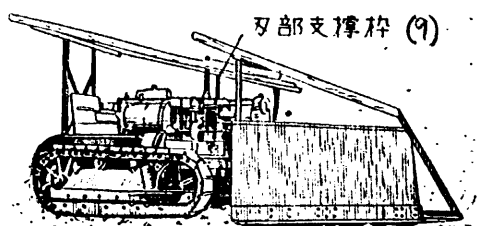


(8) 半装軌式除雪機

IV 森林通過器材

A 伐採機

幅 25~30 厘米ノ樹木ヲ伐採スル爲ニ使用スルモノニシテ三角形ノ鋸部ヲ 60 馬力トラクター
ヲ以テ推進シ樹木ノ根ノ附近ニテ切断ス 作業能力ハ 1 時間 1000 平方米ニシテ切断セル樹
木ハ伐採機ノ木製ノ架ニ依リ兩側ニ除カル

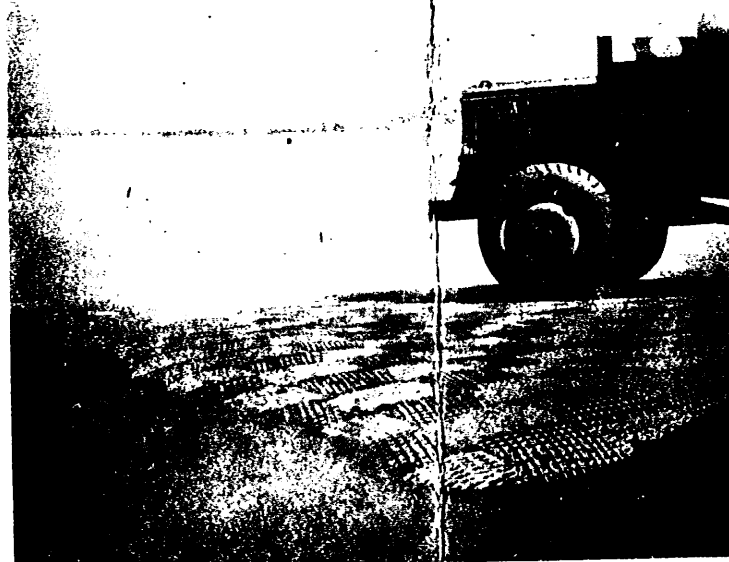


各部支撐棒 (9)

(10) 各部

金網敷設道 (米)

亜鉛鍍金メッシュ針金ヲ以テ幅約 35 厘米 長さ 1.5~2 米ノ金網ヲ製シ更ニ並列組合シテ略ハ方
形トセルモノヲ林盤目ノ如ク湿地ニ敷置スルモノナリ 而シテ金網ハ縦ノ線ハ八番線ヲ使用
シ各線ノ間隔ハ 1.5 厘米 横ノ線ハ十番線ヲ使用シ各線ノ間隔ハ 8 厘米以下ナリ
本金網ニ使用スル針金ハ普通針金ノ約 3.5 倍ノ耐伸度ヲ有シ損傷ニ耐フル如ク高度ノ靱性
及強度ヲ有ス



鋼板敷設道 (英)



薄形鋼板ノ四部ヲ下ニシテ順次路面ニ横
ニ配列シ各薄形鋼板ノ起端部ト凹部部トヲ
以テ次々ニ接合スル仕組ナリ
鋼板ノ厚サハ荷重ノ如何ニ依リ 1~3
時ニ作成セラレアリ
本材料ハ従来ノ丸太敷道ニ比シ設置迅速
ニシテ運搬體積ノ小ナルヲ特徴トス

マーシュボギー (米)

用途 湿地ニ水上通過用
構造 巨大ナル 4 箇ノ空気入ゴム輪帯 (空気壓ハ 1 平方吋 3 寸度) ヲ有シタイヤノ浮力ニ
依リ容易ニ水面ニ浮遊ス 前輪ハ後輪軸ヨリ 機輪及エンジンニ依リ駆動スル
水上及湿地ニ於ケル推進手段トシテタイヤノ全周ニ 12 箇ノゴムホースヲ掛ケ其ノ
一端ヲ密閉シテエンジンヲ以テ給油ニ轉著シ其ノ中ニ壓力 25 磅ノ空氣ヲ押入ス
寸法 全長 22.5 呎 全高 10 呎 6 吋 タイヤ幅 3 呎
重量 全重 7500 磅度
速度 陸上 35 哩/時 湿地 12 哩/時 水上 7 哩/時
搭載 人員 75 名



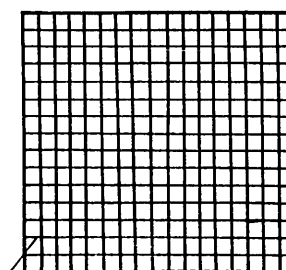
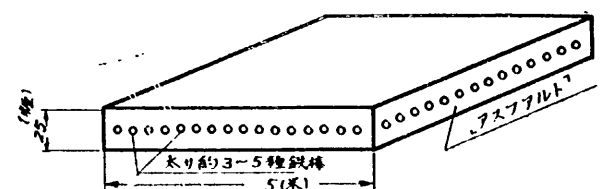
構造 通 山艇ニ四輪ヲ装シタイ外觀ヲ呈シ 車體後部ノ推進機ニ依リ水上航行ヲナス
重量 全重 1 噸
機輪 全長 60 馬力
陸上速度 毎時 65 哩
搭載人員 5 名
式 裝 7.5 馬力機輪 1



飛行場舗装資材

鉄筋アスファルト板ノ敷置 (米)

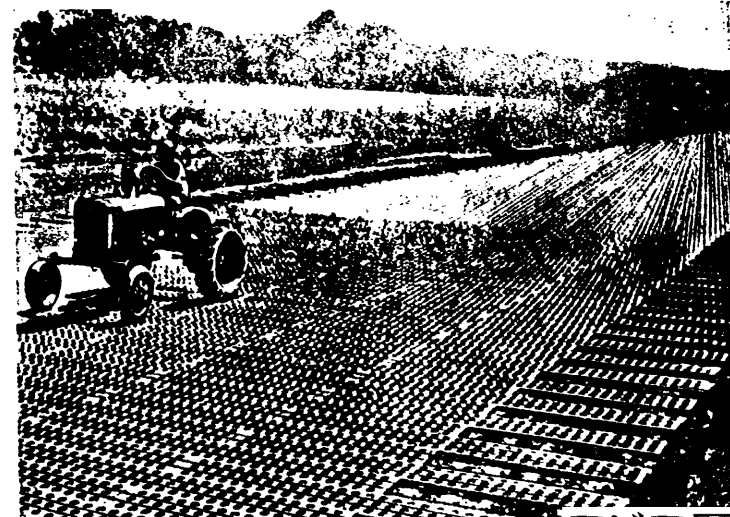
鉄筋アスファルト敷飛行場ハ地面ノ地均シ行ヒタル後 鉄筋及アスファルトヲ使用シ作製セ
ル厚サ 25 厘米面積 5 米平方ノ平板ヲ敷キ詰メ其ノ間隙ノアスファルトヲ以テ充填シ急造ス



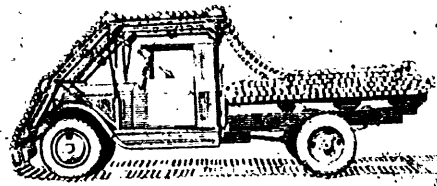
鉄筋ノ網形ニ交差シアスファルトヲ以テ固ム

穿孔鉄板ノ敷置 (米・英)

幅 15 吋 長さ 10 呎ノ穿孔鉄板ヲ並列結合シテ敷置スルモノニシテ自動車ニ積積シテ運搬ス
構造簡單設置容易ニシテ地均シ後幅 150 呎 長さ 3000 呎ノ滑走路ヲ 150 名宛 8 時間交代ヲ以
テ 60 時間ニ完成ス
本機板ハ重荷重ニ耐フルヲ以テ飛行機ノ滑走路位置ニ主トシテ使用ス

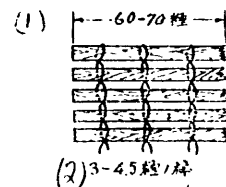


75馬力コンムナル型車(及長米切車) 330米(板ノ厚サ4mm)又ハ 255米(板ノ厚サ5mm)



棒製補助無限軌道

太サ 3~4.5mm 棒ノ長サ 60~70mm 長サ 切り針金ニテ結束ス 棒ハ棒 標等成ルバノ厚キモノヲ使用ス
補助無限軌道ヲ附シタル戦車ノ沼澤地ニ於テ行進速度ハ約5割増シ

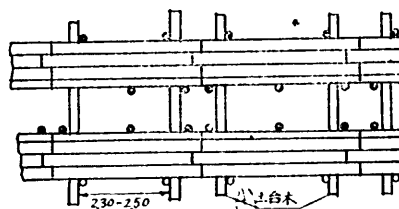
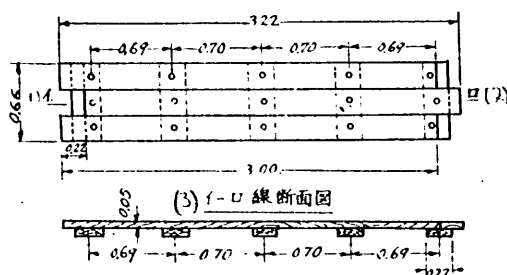


板製車轍道

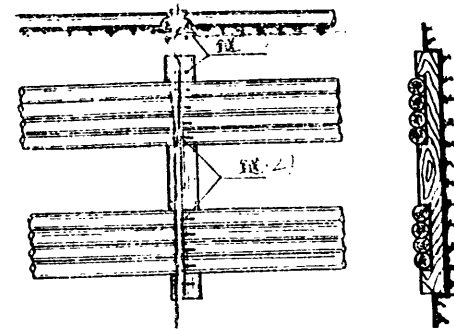
板製車轍道ハ豫メ準備セラレタル場所ニ搬入セラレタル 筒々ノ鋪板ヲ以テ之ヲ構築ス 定型鋪板ノ大キサハ次表ノ如シ

鋪板ノ名稱	長(米)	幅(米)	重量(斤)	板ノ寸法	上蓋板ノ間隔(mm)	土厚板ノ數
3米鋪板	3.22	0.66	82	3.0 22 5	70	5
4米鋪板	4.22	0.66	110	4.0 22 5	63	7

3米鋪板ハ15馬力自動車 4米鋪板ハ3馬力自動車ノ通過ニ適ス 鋪板ノ内側ハ板又ハ丸太ヲ以テスル車輪止メヲ設置シ長サ 0.6~0.8米 直径 7~10mmノ抗ヲ以テ之ヲ固定ス

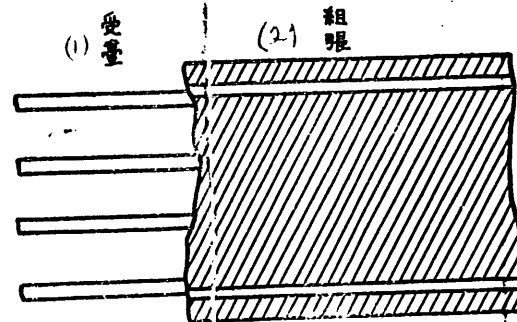


3米鋪板設置圖



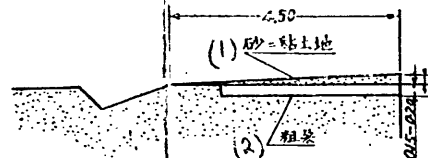
斜布置丸太道

丸太ヲ道路ノ方向ニ 90度ニ組ム方ニシテ 自動車(ノ車輪ハ左右同時ノ横動ヲ受ケズ)時速 25~30 軒ヲ以テ走行シ得
長サ 10~12米ノ丸太ノ得ラヌ場合ハ往復交通路 長サ 5~6米ナルトキハ一方ノ交通路ヲ構築ス



粗梁鋪裝道

粗梁ノ鋪裝ハ通過荷重大ナラザル區間(縦路等)ヲ時限ニ強化スル爲ニ之ヲ行フ 先ヅ路面ヲ平坦化セル後厚サ 15~20mmノ粗梁ヲ敷キ其ノ上ニ過リタル粘土質土塊ノ小ナル層ヲ敷キ踏ミ固メ 然レ後砂土層(ハ砂ヲ厚サ 10~15mm敷キ踏ミ固メ之ヲ踏ミ固ムルカキクハ縦路機ヲ以テ平坦ニス 砂地ノ平坦化ハ粗梁ヲ使用スル際ハ準備シタル 切取部ニ厚サ 15~20mmノ層ヲ成ス如ク道路ニ對シ横・粗梁ノ敷キ此ノ上ニ砂土質土塊ヲ又之ヲ踏ミ固ム場合ハ砂ヲ厚サ 15mmニ撒布ス



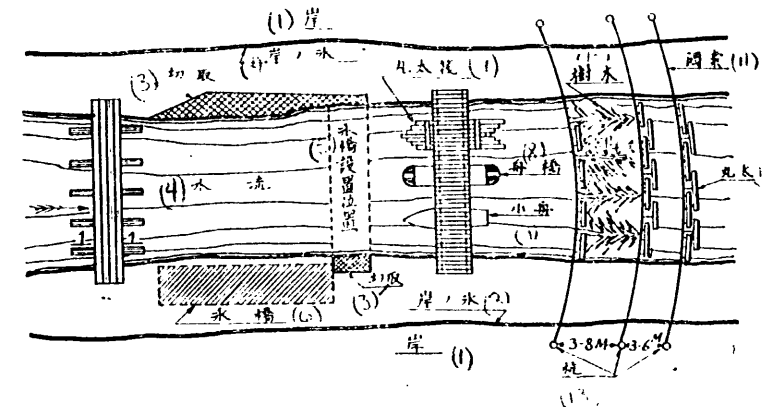
濕地通過用浮囊靴

長サ2米 高さ 20mm 最大幅 35mmノゴム製浮囊ニシテ兩端尖リアリ
下面ハ長サ15mm 幅10mmノ扁狀ノゴム板(移ハ針金ヲ入レアリ)ヲ約10mmノ間隔ヲ以テ6箇配置シ之ヲ防グ如クナシ



B

1. 一列及二列隊ノ歩兵ノ通過ノ爲ニ丸太及板ニテ欄干ヲ有スル 軌道ヲ形成シ流連ヲ利シ 牛車形ノ車キテ對岸水上ニ架ス
2. 岸ニ近キ水ノ所ニ所ニテ 船ヲ連結シシメタル後之ヲ貨物ノ通過幅ヨリ 6~10米以上ノ大ナル如ク切取り流連ヲ利シ對岸ニ誘導ス
3. 筏・舟・樽等現地物料ヲ利用セシメ角材ヲ架ス 斯ル舟橋ハ冬期長時間ニ亘ル渡河ニハ連結線 防ニ多大ノ困難ヲ伴フ常トス
4. 鋼索ヲ懸張シ之ニ樹枝又ハ丸太ヲ車結シテ連結セシム 連結ハ一日夜乃至二日夜ヲ要ス



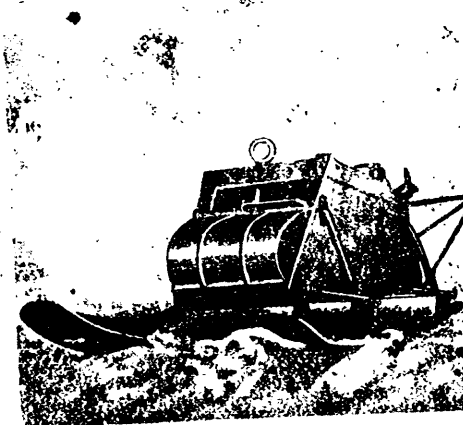
雪中通過器材

プロペラ橋

冬季戰ニ於テ搜索 襲撃攻撃 連絡 患者及彈藥ノ輸送等ニ使用スルモノニシテ車體後部ニ航空機用發動機ヲ裝備シプロペラノ回轉ニ依リ推進ス

プロペラ橋ニハ各種型式ノモノ存在スルモ其ノ一例次ノ如シ
上 2.5m 幅 1.5m 高さ 2.5m 重量 2.5t 構造 鋼製 底面地上高(荷重ナキ場合) 32mm

全備重量 1200kg
速 度 時速 25~35 軒 平地ニ於テ最大時速 60~70 軒
發 動 機 90~95 馬力 汽流航空機用機関(空冷)
プロペラ 木製 直径 240mm
式 裝 7.62mm 機関銃 1
裝 甲 正面 8mm
搭 乗 員 2名



満速利用シ
0.5以上
可ハ六車結像



オ

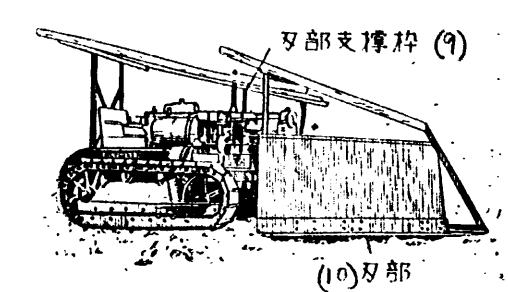
機後部、航空

(4) 鋼 索
(8) 牽引車除雪機

IV 森林通過器材

A 伐 採 機

概 25~30 樹迄ノ樹木ヲ伐採スル爲使用スルモノニシテ三角形ノ型部ヲ 60 馬力トラクター
ヲ以テ推進シ樹木ノ根ノ附近ニテ切断ス 作業能力ハ 1 時間 1000 平方米ニシテ切断セル樹
木ハ伐採機ノ木製ノ架ニ依リ兩側ニ除カル



B 網 絡 機

30 樹以上ノ株ヲ伐去スルハ牽引車ノ牽引力ニ依リ作動スル 2 箇ノ捲取軸ヲ有スル網絡機ヲ
使用ス 本機ハ 4 名ニテ操作シ概 30 樹以上ノ株ヲ 1 時間ニ 12 株取除キ得 此ノ外人力ニ依
リ操作スル網絡機アリテ概 35 樹迄ノ株ヲ 1 時間 4~5 株伐去ス
概 12 樹以下ノ際ハ牽引車ニテ特殊ノ鋼ヲ牽引シテ伐去ス

V 超 壕 器 材

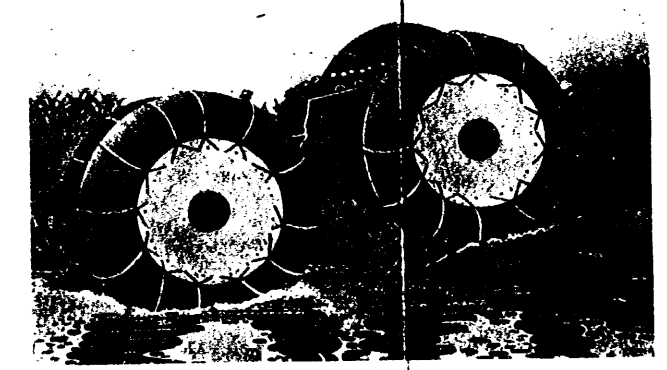
A 架 橋 戦 車

幅約 6 米以下ノ壕 小流ニ輕戦車機ノ車輛ヲ通過セシムル目的ヲ以テ戰車ノ兩側若クハ砲塔
上ニ 2 箇ノ構成梁材ノ載架運搬シ機力ニ依リ架設スルモノナリ
寫眞ニ示スモノハ T-26 型戰車砲塔ニ改造シ加ヘタルモノニシテ前方ノ二鋼索ヲ曳クコトニ
依リ前方支柱ヲ中心トシテ橋梁ヲ架設スルモノノ如シ



マ ー シ ュ ボ ギ ー (米)

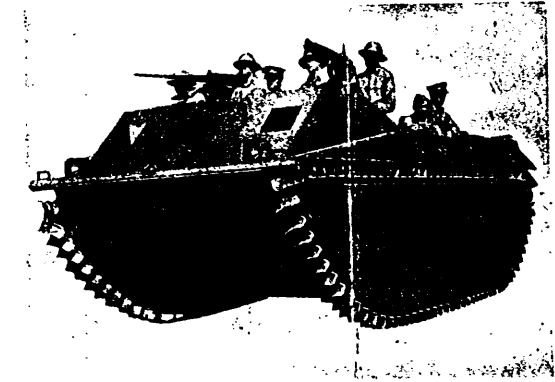
用 途 湿地ニ水上通過用
構造 巨大ナル 4 箇ノ空氣入ゴム輪帶 (空氣壓毎 6 方吋 3 月度) ヲ有シタイヤノ浮力ニ
依リ容易ニ水面ヲ浮遊ス 前輪ハ後輪軸ニ 1 箇輪及チエンニ依リ駆動スル
水上及湿地ニ於ケル推進手段トシテタイヤノ全周ニ 12 箇ノゴムホースヲ掛ケ其ノ
座端ヲ密着シチエンヲ以テ輪帶ニ縛著シ其ノ車ニ壓力 25 月度ノ空氣ヲ挿入ス
法 全長 22.5 呎 全高 10 呎 6 吋 タイヤ幅 3 呎
寸 重 量 7500 月度
速 度 陸上 35 哩/時 湿地 12 哩/時 水上 7 哩/時
搭 載 量 75 名



水 陸 兩 用 車

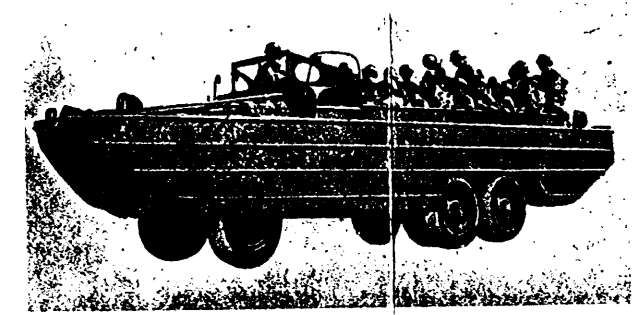
水 陸 兩 用 運 搬 車 (米)

用 途 水上 渡津地 沼澤地等ヲ通過シ人員兵器ヲ運搬ス
構造 材質ハジュラルミンニシテ T 型突起部ヲ有ス底面ノ回転ニヨリ水上運航ヲナス
寸 法 全長 9 呎 6 吋 幅 2 呎 4 吋 高 2 呎 4 吋
重 量 4 噸
搭 載 量 40 名
搭 載 兵 隊 2 班
速 度 陸上 毎時 40 哩 水上及沼澤地 毎時 16 哩
機 關 自動車用 125 馬力機関



水 陸 兩 用 ト ラ ッ ク (米)

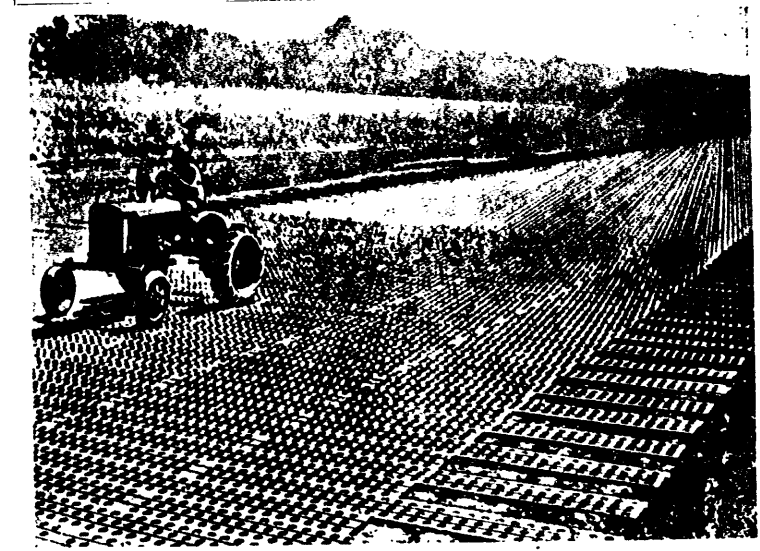
用 途 兵員及彈藥ヲ水陸兩用輸送
自 重 2.5 噸
寸 法 全長 約 9 米 幅 2.4 米 高 2 米



鉄筋コンクリート・支保工・アスファルト・舗装工

穿 孔 鐵 板 ノ 敷 置 (米・英)

幅 15 呎 長サ 10 呎ノ穿孔鐵板ヲ並列結合シテ敷置スルモノニシテ自動車ニ積載シテ運搬ス
構造簡單設置容易ニシテ地均シ後幅 150 呎 長サ 3000 呎ノ滑走路ヲ 150 名宛 8 時間交代ヲ以
テ 60 時間ニ完成ス
本機板ハ重荷重ニ耐フルヲ以テ飛行機ノ着陸位置ニ主トシテ使用ス



金 網 ノ 敷 置 (米・英)

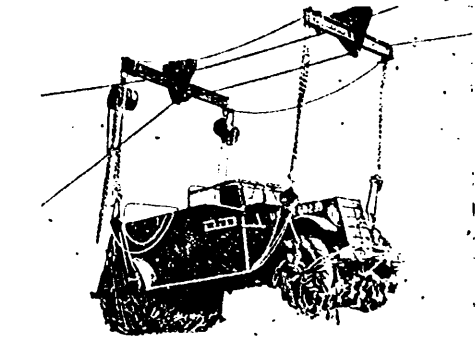
幅 4~5 米 長サ 15~20 米ノ金網 (横ニ稍々太キ鐵棒ヲ約 25 呎間隔ニ挿入シ鐵棒ヲ以テ荒口
ニ編ミ上ゲタルモノ) ヲ地上ニ敷キ詰メ金網ノ端ハ鐵杭ヲ以テ固定シ滑走路トナス 本番
道路ハ特ニ腐蝕ヲ施リザルモ對空遮蔽良好ナルモノノ如シ
特ニ地盤不良ナルトキハ本金網ノ下ニ椰子皮ノ縦横ヲ以テ復メ爾マツツ敷キ相強ス



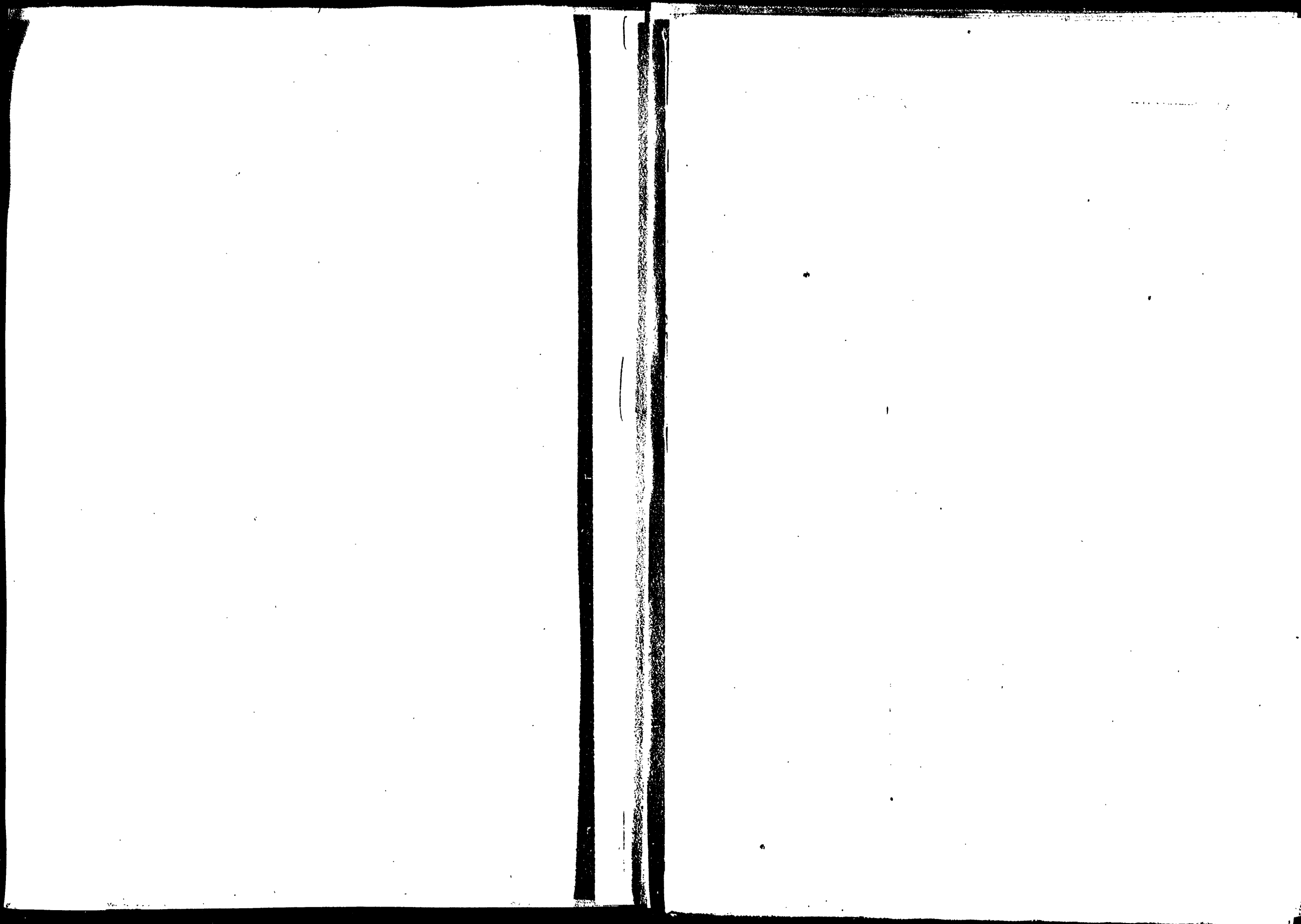
索 道

車 輛 渡 河 用 索 道 (米)

米軍ニテハ最近索道ノ利用ニ依リ車輛兩隊ノ渡河ヲ試ミタリ索道車ヨリ吊索ヲ垂レ之ニ車輛
ヲ搭載セル者ヲ懸吊シ急流河川等架橋作業困難ナル地形ヲ通過セシメントスルモノナリ
300 米ノ標間ニ係 5 時ノ最速ヲ算定シテ試ミタル結果ハ 1 時間ニ 13 載車輛 15 臺ヲ運搬シ得
タリ而シテ之ガ組立ニハ約 50 名ヲ以テ 3 時間ヲ要セリト云フ



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



1 : 2 5

